

日ノ岡たより

平成30年4月号



高齢サポート・日ノ岡

京都市日ノ岡地域包括支援センター

〒607-8493

京都市山科区日ノ岡朝田町50-7

TEL 595-5575 / Fax 582-6087

法人hp <http://ryokujukai.com>

e-mail hinooka@ryokujukai.com

6度目の介護報酬改定が行われます。

介護保険の事業者の収入や利用者の皆様にご負担になる利用料算定の基礎となるサービスごとの介護報酬ですが、3年に1度その単位数が変更され、6年に1度は単位数の変更だけでなく、根本的なルールから大きく変わるというサイクルで来ているのですが、平成30年度は6年に1度の大幅改定が行われる年です。

サービス全体の介護報酬の改定率はプラス0.54%というほぼ据え置きといった状況なのですが、その改定の方向性として以下のような4つの柱が示されています。

①地域包括ケアシステムを押し進める

在宅の看取りの評価や、医療と介護の連携を強化し、中重度になっても在宅で暮らし続けられる体制を構築を目指します。

②自立支援重度化防止の取り組みを強化

リハビリテーションの強化を評価→リハビリに関わるサービスの多くは介護報酬が上がります。

③多様な人材の確保と生産性の向上

介護福祉士は身体介護や施設での介護を中心にシフトし、在宅のヘルパーさんについては基準を緩和したヘルパー資格が制定されたり、施設では介護ロボットが導入されたりします。

④介護サービスの適正化

収益の大きい大規模デいの介護報酬が下がったり、訪問系サービスの集合住宅に訪問した際の減算が拡大します。

今回の介護報酬改定については色々思うところもあるのですが、医療との連携や、リハビリについては高く評価されるようになった反面、低い介護報酬と厳しい運営基準の中できゅうきゅうしながら活動が続いて来たホームヘルパーが、誰でもできる労働という前提の下に社会的な合意形成が図られようとしているのは、何とも心が痛みます。

詳しくは今後出る解釈通知の類を待たないといけないのですが、現在介護サービスをご利用の皆様へは担当のケアマネさんから追って説明があると思いますので、その際にお確かめください。

最近この年になって若い頃もっと勉強しなきゃよかったと痛切に感じています。東大法学部あたりを出て、厚生労働省に入省してたり、社会保障審議会に招かれるくらいの学者になっとけば、介護保険の制度設計に携わって、もっとよい制度にできたのになどと夢のようなことを妄想しているのですが、現実の私は部下から「もの忘れが激しいので、認知症の評価スケールとったるか」とか、「脳が萎縮していないかMR I撮ってもらえ」とかひどい言われようをしている今日この頃です。

この制度は、そして私はどこに向かおうとしているのか。先行き不透明感極まりない平成最後の年度初めです。

北花山元気倶楽部 4月の行事予定

4月3日

「自己紹介」

※年度初めなので、改めて自己紹介します。

4月10日

「音楽を楽しむ会」

内容は秘密 お楽しみに

4月17日&24日

「壁掛けづくり」



こんなんができる予定です。皆さん、ハサミと定規と鉛筆をお持ちください。

⚠ 注意事項

これまでどおり、茶話会でのお茶はお出しできますが、汗をよくかく時期になると脱水の心配が高まります。各自でも水分をご持参ください。

4月 行事カレンダー

カレンダーの各行事の説明



1日(日)	
2日(月)	④洛和グループ ホーム山科鏡山
3日(火)	⑨北花山
4日(水)	⑧かもと
5日(木)	①市田公園 ⑪やぐらカフェ
6日(金)	②みどりの径
7日(土)	③六兵衛池公園 ⑤上花山
8日(日)	
9日(月)	④洛和グループ ホーム山科鏡山
10日(火)	⑨北花山
11日(水)	⑩みささぎ
12日(木)	①市田公園 ⑥別所町
13日(金)	②みどりの径
14日(土)	③六兵衛池公園
15日(日)	
16日(月)	④洛和グループ ホーム山科鏡山 鏡山ほほえみカフェ
17日(火)	⑨北花山
18日(水)	⑧かもと
19日(木)	①市田公園
20日(金)	②みどりの径
21日(土)	③六兵衛池公園 ⑦日ノ岡
22日(日)	
23日(月)	④洛和グループ ホーム山科鏡山
24日(火)	⑨北花山
25日(水)	⑩みささぎ
26日(木)	①市田公園 ⑥別所町
27日(金)	②みどりの径
28日(土)	③六兵衛池公園
29日(日)	
30日(月)	④洛和グループ ホーム山科鏡山

公園体操



音楽に合わせて行う20分ほどの簡単な体操です。申し込みも不要ですので、どなたでもお気軽にどうぞ。雨天の場合は中止になります。「のぼり」が開催の目印です。

会場名	開催日時	費用	備考
①市田公園／柳田邸横私道	毎週木曜日 午前9時30分	無料	まだまだ寒い日が続きます。暖かめの服装でお越しください。
②みどりの径	毎週金曜日 午前9時30分	無料	
③六兵衛池公園	毎週土曜日 午前9時30分	無料	
④洛和グループホーム山科鏡山	毎週月曜日 午前9時30分	無料	
⑤上花山公会堂	毎月第一土曜日 午前7時	無料	

元気倶楽部



京都市の筋トレ指導者養成講座を終えられたボランティアさんの指導による室内で行う軽い運動です。時間は1時間30分程。介護予防のため、一緒に汗を流しましょう。**水分とタオルの持参をお忘れなく。祝日は休みにします。**

名称	会場	開催日時	費用
⑥別所町元気倶楽部	別所町自治会 集会所	第2、4木曜日 午前10時	無料
⑦日ノ岡元気倶楽部	高齢サポート 日ノ岡	第3土曜日 午前10時	無料
⑧かもと元気倶楽部	こんこう会館	第1、3水曜日 午後2時	100円
⑨北花山元気倶楽部	北花山公会堂	毎週火曜日 午後2時	200円
⑩みささぎ元気倶楽部	洛和ホームライ フみささぎ	第2、4水曜日 午前10時	無料

*お持ち帰り工作等を行なった際には100円追加で頂くことがあります。

*途中参加でも途中退場でも参加費は同額です。

オレンジカフェ



認知症の人でもそうでない人もみんなが集って自由に悩みごとなどを相談し合える空間です。お飲み物とソラコさんのおいしいお菓子が付きます。

名称	開催日時	費用
⑪やぐらカフェ	第1木曜日 午後2時～4時 (時間内なら出入りは自由です)	200円

公園体操以外の事業は雨天の場合も原則実施しますが、朝9時の時点で**台風の接近等による警報が発令されている場合はお休みとします**ので、ご注意ください。また、**インフルエンザ等の感染症が流行っているときは当方の判断で急きょ中止とすることもあります**。ご了承ください。開催の時は入り口前に「元気倶楽部」のノボリを立てています。ノボリの出ていない場合は中止となります。電話での実施の照会は当日朝9時から対応しています。その他、ご不明の点がございましたら当センターまでお気軽にお問い合わせ下さい。



高齢サポート・日ノ岡

京都市日ノ岡地域包括支援センター

Tel: (075) 595-5575

Fax: (075) 582-6087

E-mail: hinooka@ryokujukai.com



平成29年度第2回日ノ岡日常生活圏域地域ケア会議を開催しました

去る2月22日に花山中学校多目的室をお借りして、平成29年度の地域課題集約の総決算と言える「日ノ岡日常生活圏域地域ケア会議」を開催致しました。

いつもの地域のお歴々の皆様を始め、山科区役所健康長寿推進課、山科区社協、山科警察署、山科消防署そして山科医師会より高瀬先生にご列席いただき、無事に開催することができました。

最初に今年度で開催した個別ケア会議の内容や学区のケア会議、8月に開催した1回目の圏域会議で挙がった課題について集約した内容をお伝えし、参加者全員で共有を図りました。

そしていつものワールドカフェでの参加者全員での話し合いですが、今回は「いつか来る大災害に対して平時から我々にできること」というテーマで話し合いを持ちました。各家庭でできることから地域全体でやっておくことなど多くの課題やアイデアを出していただきました。

これは当日も話し合いに先駆けてお話したのですが、西日本全体がその被害に遭うであろう「南海トラフ連動地震」が今後30年以内に起こる確率は70%~80%と報告されています。朝の天気予報で降水確率80%なら大抵の人は傘を持って出かけるでしょうし、そのくらいに身近な問題として考え、備えなければならない時期に来ているのではないのでしょうか。

無論まずはご自身とご自身の家族を守ることが第一ですが、そのうえで自力で避難できない高齢者や障がい者を地域全体でどうやって守るのか。

今回の話し合いで出していただいた意見をまとめて平成30年度の地域課題の新たな柱として考えていきたいと思います。



地域のみなさんと1ルーク



今回は当センターの一階にあるデイサービスセンターの今村所長が寄稿してくれました。十八番は「おもてなし」、座右の銘は「一期一会」です。



皆さんこんにちは。日頃は日ノ岡デイサービスセンターの運営にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

皆さんも新聞報道等でご存知の方も多いと思いますが、先日、宮津市の特養でご利用者への虐待の疑いがあるとして、京都府が運営法人に改善勧告を出したとのことです。ベッドから転落したとの理由で昨年12月に病院を受診した入所者の90代の女性の全身に打撲痕などがあり、医師が市に通報したことで発覚。他に16人にも不自然な骨折や皮下出血などがあったといい、同じ介護に携わる者として、とても胸が痛む思いです。

2000年、介護保険制度がスタートし、利用者と事業者の契約による介護の利用という仕組みが、契機となり、「介護もサービス業」と言われるようになりました。

「介護＝サービス業」については、一理ありますが、私個人としては対人援助である介護・福祉の世界で、「当事業所のデイサービスセンターをご利用いただくお客様」、物を売り買いする関係ではないので、“お客様”には多少なり違和感がありますが。現在は、職員教育で、介護接客サービスとして「接客」や「接客」を学び、お客様満足度を高めていく教育も当たり前になっています。

私自身、介護の仕事をさせていただく前は、ホテルで働いていました。いわゆるホテルマンです。そこで、新入社員の時から「接客」、「接客」をたたきこまれたことを思い出します。

例えば、こんなことがありました…

お客様から、「赤（ワイン）のシャブリを下さい。」こんな注文があったらどう応じるか。と、当時の上司に問われました。シャブリは白ワインしかないのですが、ホテルマンとしては、「申し訳ございません。ただいま切らせております。」が、正解です（これだけが正解ではありませんが…）。このように徹底した「ホスピタリティ精神」を学びました。

ホテルでの経験が、仕事人としての現在の私の礎を築いていることは間違いありません。「介護＝サービス業」それ自体はいいことだと思います。しかし、介護の仕事は、単にご高齢者の身の回りのお世話をするだけではありません。ご高齢者の『暮らし』を支える仕事です。生活に密着しながらも、介護者の一方的なケアではなく、双方の心の通じ合いが大切で、介護する側の人間性が重視される特別なサービスなのです。

少し難しい話になってしまいましたが、いくら接客や接客を学んでも、思いやりのところがなければ、意味がありません。少しでも思いやりのところがあれば、先述のような高齢者虐待は起こらないのではないのでしょうか。

接客は、そこに思いやりのところがあって初めて意味を成します。目に見えない、マニュアル化し難い、思いやりのところを私たちが学び、それを形（介護サービス）として表現（提供）していくことがサービスの向上となり、ご利用者ご家族の満足に繋がっていくと思います。

これからも「思いやりのところ」を大切に、みんなで今以上の楽しいデイサービスを作っていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

最新情報はフェイスブックで絶賛更新中です。
「高齢サポート・日ノ岡」で検索してみてください。
パンダのマークが目印です。